

# 2016年度

## 韓国留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：9月3日（土）～12月24（土）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21015104

平松美衣奈

# 目次

1	留学先及び留学期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4・1 履修コースの詳細	4
	4・2 時間割	4
	4・3 留学のスケジュール	4・5
5	所感	6
6	おわりに	6
	謝辞	6

## 1 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学 国際教育院

留学期間：平成28年9月3日（土）～12月24日（土）

## 2 留学先概要

### (1) 大学について

慶熙大学は、韓国の首都であるソウルという都市に位置する。2010年に開校60周年を迎え、現在約3万人の学生が在籍している名門私立大学である。ソウルキャンパス、水原キャンパス、光陵キャンパスの3つのキャンパスには20以上もの学部が存在しており、様々な分野を学ぶことのできる総合大学である。語学教育制度の充実や国際交流プログラムを実施するなど韓国の国際化をリードする大学であり、現在50か国150校と姉妹提携を結んでいる。慶熙大学校国際教育院は1996年に「大韓民国政府招請外国人奨学生プログラム」の韓国語研修期間として選定され、毎年多くの留学生在がこのプログラムを利用し、韓国語を学びに来ている。また留学生在に慶熙大学の学生がマンツーマンでつき、生活や語学勉強の手助けをしてくれるという「トウミ（チューター）制度」を韓国で初めて導入した大学でもあり、その内容には定評がある。

### (2) 大学で行われている教育について

上記に述べた通り、慶熙大学は語学教育が盛んである。1970年に設立された国際教育院では毎年30か国700人以上の留学生在が韓国語を学んでいる。また世界中の大学と姉妹校提携を結んでいるため、多国籍な雰囲気の中で韓国語を学ぶことができる。級は、初級・中級・上級の3つに分かれており、さらにその級ごとに初級1、初級2と二つのレベルに分けられ全6段階となっている。このように細かくレベル分けされているため、自分に合ったレベルの韓国語を学ぶことができる。クラスの人数はだいたい1クラス10人～15人となっており、少ない人数で集中もでき、着実に韓国語を身に着けることができる。また、担任の先生との定期的な面談により、生活面や学習面での不安点なども相談することができる。

## 3 留学目的

今回の留学の1番の目的は、韓国語を上達させることである。英語を中学校から大学1年生まで学んできた。社会に出れば英語は必要になってくるだろうし、需要も高い。そのため語学を選択する際に、最後まで韓国語と迷ったのだが英語にプラスでもうひと言語話せるということが強みになるのではないかと考え、韓国語を選択することにした。そして韓国語を選択したからには中途半端で終わらせたくないという思いがあった。なので、語学の上達

にはやはり現地に行って、ネイティブな言語に触れることだと感じたため留学を決意し、本場の韓国語に触れ少しでも自分の韓国語能力を上げることを目的とした。

もう1つの、目的は自分の視野を広げることである。慶熙大学には様々な国から多くの留学生が来ていると知り、留学を通して様々な異文化に触れることによって日本にいただけでは得ることのできないものを身に着けることができたり、考え方が豊かになったりするのではないかと考えた。よって様々な国の留学生との交流や、異国での生活を通じて自分の視野を広げ、さらに将来の可能性も広げることを目的とした。

#### 4 留学内容

##### 4・1 履修コースの詳細

今回参加したプログラムは3つに分かれている。

##### 1. 短期コース（9月3日～23日）

最初の3週間は短期プログラムに参加し、初級1を勉強する。クラスのほとんどが日本人。

##### 2. 長期コース（9月28日～12月7日）

短期プログラム終了後、正規過程で10週間初級2を学ぶ。このコースでは様々な国からの留学生と一緒に学ぶことができ、韓国語を使う機会も増える。

##### 3. TOPIK 対策（12月8日～16日）

韓国語の全過程が終了した後、1週間 TOPIK（韓国語能力試験）対策の授業を受ける。

##### 4・2 時間割

基本的に午前は韓国語、午後は文化授業を受講する。

まずは韓国語の授業について。1～4時間目まで各50分授業。最初の3週間は文法を中心に、リスニング・スピーキングを並行して行う。10週間コースは1・2時間目に文法、3・4時間目は日替わりでリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングを行う。

次に文化授業について。文化授業は月～木曜日の午後2時10分～4時まで行われる。これも日替わりで、月・韓国の映画、火・特別講義、水・韓国の歌、木・セミナーとなっている。

##### 4・3 留学のスケジュール

留学中の特別なことがあった日だけ記載。

月	日（曜日）	午前	午後
9	5（月）	オリエンテーション、入校式	クラス分け試験（筆記）

	6 (火)	韓国語・初級 1 (文法、リスニング、スピーキング)	文化授業 2 8 (オリエンテーション)
	8 (木)	現地学習	
	↓		
	1 4 (水)	現地学習	
	1 5 (木)	秋夕 (チュソク)	
	↓		
	2 3 (金)	クラスの集まり、修了式	
	2 6・2 7 (月・火)	韓国語・初級 1 (文法、ライティング、リーディング)	文化授業
	2 8 (水)	オリエンテーション、入校式	
	2 9 (木)	韓国語・初級 2 (文法、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)	文化授業
1 0	5 (水)	文法、Mr. K コンサート	文化授業
	↓		
1 1	3 1・1 (月・火)	中間試験	
	6・7 (日・月)	現地学習	
	1 1 (金)	特別授業	
	↓		
1 2	1・2 (木・金)	期末試験	
	7 (水)	修了式	
	8 (木)	TOPIK 対策	文化授業
	↓		
	1 6 (金)	修了式	

## 5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

### i)韓国語を上達させること

帰国してから韓国語の試験などを受けていないため数字としてこれだけ上達したという成果は表せないが、自分の実感として留学前より韓国語は上達したのではないかと感じる。使える韓国語の表現も増え、何よりリスニング能力がもっとも上がったと感じた。韓国で過ごすうちに、店員のいっていることや先生方の言葉など現地のひとの話すことがだんだんと理解できるようになっていった。

### ii)自分の視野を広げること

様々な国の留学生との交流を通して自分の視野を日本にいた時より少しでも広げることができた。国際教育院には様々な国、様々な年齢、様々な目的を持ち韓国に来た留学生がいて、そんな彼らと過ごすうちに、自分の中でも考え方が変化したり、こういう生き方もあるのかということ学んだりすることができた。

## 6 反省・課題

約4か月間の留学を通して、多くのことを学び、身に着け、日本にいたときの自分より少しは成長して帰国することができた。

しかし韓国語の能力はまだまだなので、今後も気を抜かずに励みたい。特に言葉は使わなくなるとその能力はどんどん低下すると言われてるので、現地で知り合った友人と連絡を取り合ったり、これからの生活でも積極的に韓国語に触れる機会を作ったりして留学で得たものを維持させることはもちろん、さらなる向上を目指し勉強を続けたい。

## 謝辞

今回の留学において、いつも親切丁寧にご指導して下さったキム・スンミン先生をはじめ、私たちに関わって下さった慶熙大学の多くの先生方に深く感謝申し上げます。また生活面で大変お世話になった、国際情報大学の先輩である川上洋子さんにも心より感謝いたします。さらに留学から帰国まで私たちを支え、ご指導して下さった申銀珠先生をはじめ本学で留学に携わって下さったすべての方々に心より感謝いたします。最後に新潟国際情報大学からいただきました奨学金により本留学への参加が実現し、充実したものとなったことを、心から感謝いたします。